

# 私たちの くらしと水

vol. 39 2013.9.1



宇都宮市上下水道局

検索

特集  
SPECIAL CONTENTS

くらしの中で感じる水のめぐみ①

## 家族で HOW TO 防災

- 「もしも」のための“備え”あり
- 貯水槽水道の管理は設置者の責任です
- 「宇都宮市上下水道基本計画改定計画」  
を策定しました

## 水とめぐみ① 小川で生き物探し

用水路などの小川にもたくさんの生命が宿っています。小さな生き物に目を向けると、豊かな自然の恵みを感じることができます。生き物が元気に暮らせるきれいな水を守っていききたいですね。

- 撮影場所>> 宇都宮市長岡町の田園地帯
- 市民モデル>> (左) 横山 櫻乃心くん (5歳)  
(右) 深澤 琉雅くん (5歳)

# 家族で HOW TO 防災

— 昨年の東日本大震災や昨年県東部を襲った竜巻…。  
近年、私たちの身近な所をはじめ、世界各地で被害の大きな自然災害が頻発しています。あなたのおうちの防災対策は万全ですか？  
9月は防災月間。この機会にご家庭での防災対策を見直し、「もしも」に備えましょう。

## STEP 1 災害を知る

### 災害のすごさをリアルに体験！

自然災害は予告なく起きるもの。まずは、災害を疑似体験して、そのすごさを肌で感じてみましょう。今回は、市内にお住まいの佐藤さん親子が「栃木県防災館」で4種類の災害を体験してきました！

災害のリアルなイメージを持つことで、防災対策の大切さがよく分かりますよ！

### 強風



小さい子は  
飛ばされ  
ちゃうかも。

### 特急電車並の速さ！ 風速 30m/秒まで体験

実際の強風では、枝木や土砂、時には危険な物が飛ばされてくることもあるので注意が必要です。また、台風の際は大雨を伴うことが多く、土砂災害などの情報を聞き逃さないことも大切です。

### 地震



震度7はすご  
かった！立っ  
てるのがやっ  
と。

### 過去の地震をリアルに再現

震度6～7の地震を体験すると、日頃の安全対策の大切さが実感できます。家具の固定や点検・補強により、被害を最小限に抑えるとともに、地震の際は火を消し、机の下で身を守るなどの基本を実践しましょう。

### 予測を超えた豪雨も急増！

1時間に30mm(バケツをひっくり返したような雨)、60mm(滝のような土砂降り)、90mm(厳重警戒レベル)の雨量を体験できます。

このような大雨では、河川には絶対に近づかないこと。また、雷が鳴り始めたら、速やかに屋内に避難しましょう。

### 大雨



すごい音。  
顔があげられ  
ない…。

### 煙が充満した迷路を 脱出できるか？！

地震で火災が発生することもあります。鼻と口をハンカチなどで押さえ、なるべく低い体勢をとり、避難口誘導灯を頼りに落ち着いて避難しましょう。

### 火災



体を低くして  
避難すると  
いいんだって。



坂井さん(栃木県防災館)

### >>> 防災のプロからアドバイス

感受性の豊かな子どものうちから、防災感覚を身に付けておくことが大切です。ぜひご家族で体験いただき、家庭で防災について話し合うきっかけにしてほしいですね！

どなたでも体験できます

## 栃木県防災館

とちぎけんぼうさいかん

所在地 / 宇都宮市中里町248番地

開館時間 / 午前9:30～午後4:30

(入館は午後3:30まで)

休館日 / 月曜日(※祝祭日、「県民の日」の場合はその翌日)

年末年始

駐車場 / 有

TEL / ☎674-4843

入館  
無料

